

平成20年度 第63回国民体育大会 関東ブロック大会 バasketボール競技

平成 20 年 8 月 17 日 (日) 試合開始 14:05 試合終了 15:35

【少年男子】決勝 富士北麓公園 体育館 Aコート 第 4 試合

千	葉	100	$\left\{ \begin{array}{l} 28 - 23 \\ 22 - 28 \\ 18 - 25 \\ 32 - 28 \\ - \end{array} \right.$	104	埼	玉
---	---	-----	--	-----	---	---

千 葉

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	星野 拓海	13	1	5	5	9	0	0	2	3	2	5	1	2	1	0
5*	三富 修平	11	0	0	5	9	1	2	3	2	4	6	2	0	1	3
6*	和田 保彦	10	2	6	2	3	0	2	4	1	3	4	2	1	0	1
7	横山 拓巳	8	2	2	1	2	0	0	2	1	4	5	1	0	0	2
8*	渡邊 良健	24	4	7	6	9	0	0	2	1	3	4	0	3	0	0
9	阿部 勝馬	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10*	金子 琢哉	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0
11	安田 太樹	8	0	0	4	5	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1
12	林 裕輝	11	2	8	1	3	3	4	2	0	1	1	2	0	0	2
13	齋藤 滉太	1	0	1	0	1	1	2	1	1	1	2	1	0	0	0
14	森山 翔太	12	2	3	3	3	0	0	0	1	2	3	2	1	0	1
15	藤岡 昂希	2	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1	2	0	0	1
HC 飯沼 加寿夫 / チーム		0			0	0			0	0	1	1				2
合 計		100	13	32	28	48	5	10	18	10	23	33	16	7	2	13

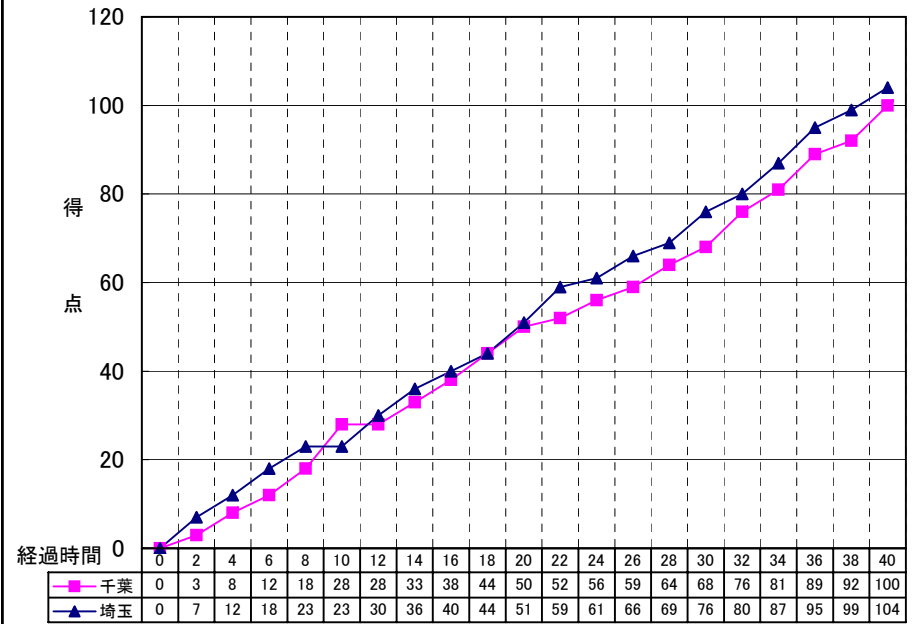
*はスターティングメンバーを表す 確率 40.6% 58.3% 50.0%

埼 玉

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	清水 隆亮	16	1	4	6	10	1	1	3	4	2	6	4	0	0	0
5*	新田 華武伊	3	0	0	1	5	1	1	1	5	0	5	0	0	1	2
6	藤森 康平	6	2	5	0	1	0	0	3	1	1	2	1	0	0	3
7*	馬場 健司	25	1	1	10	14	2	2	0	3	4	7	6	2	0	1
8	中居 秀貴	14	2	4	4	5	0	0	0	3	0	3	2	0	0	0
9	戸ヶ崎 祥一	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1
10	大久保 亮	9	1	3	3	4	0	0	1	0	1	1	1	0	0	2
11	武内 健	7	0	5	3	5	1	1	1	4	0	4	2	0	1	0
12*	平田 匠	9	0	0	3	3	3	4	0	2	0	2	0	0	0	1
13	泉 秀岳	4	0	0	1	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
14*	小原 宏太	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	倉林 紀和	7	1	2	1	3	2	2	0	2	0	2	5	0	0	4
HC 井上 裕史 / チーム		0			0	0			0	2	1	3				1
合 計		104	8	24	34	56	12	13	10	26	10	36	21	3	2	16

*はスターティングメンバーを表す 確率 33.3% 60.7% 92.3%

2分毎による得点の推移



戦評

1Q千葉マンツーマン、埼玉はマンツーマンと3-2ゾーンチェンジングでスタート。立ち上がり千葉はシュートが決まらず得点が伸びていかない。埼玉は⑦馬場が得点を重ね、埼玉のリードでゲームが進む。千葉は⑥和田の3Pの後、⑧渡邊、⑤三富が得点を重ね、残り40秒で逆転し、28-25千葉リードで終了。2Q最初に埼玉⑧中居、⑦馬場の連続得点で28-34と逆転する。千葉はメンバーを盛んに入れ替え、ゾーンやトラップでリズムを取り戻す。両チーム一進一退の展開で50-51、埼玉1点リードで前半を終了。3Q立ち上がり、埼玉④清水の連続得点と⑥藤森の3Pで50-59とリードを広げる。タイムアウト後、千葉はディフェンスのプレッシャーを強め、速攻で得点差を縮めるが埼玉⑦馬場が連続して外からシュートを決め、差を縮めない。68-76埼玉リードで終了。4Q追いつきたい千葉はメンバーチェンジを盛んにしてディフェンスのプレッシャーを強め得点を重ねるが、埼玉も⑦馬場を中心に得点を重ねる。残り1分94-102で埼玉リードから千葉は⑩林、④森山が3Pを決め、100-102と2点差まで詰め寄るが、埼玉⑩平田が外からシュートを決め、試合終了。100-104で埼玉が勝利した。

主 審 小 澤 勤 (本部)

副 審 渡 辺 信 也 (山梨)

記入者 古 田 厚 司 (山梨)